

さし、議会だより

131



夜間議会（一般質問）を 31 名の皆さんが傍聴されました【一般質問は 9 ～ 12 ページ】

9 月定例会

平成 16 年度決算を認定 … 2 ページ

新交通システムについて … 6 ページ

一般質問に 3 名登壇 … 9 ページ

平成16年度決算を認定



九月定例会本会議初日、奥本紀代表監査委員から、「歳入においては、長引く不況や基幹産業の不振により、村税や奨学資金の滞納額が、年々増加傾向にある。国保税についても、大幅な引き上げにより、今後ますます厳しい状況が予想される。」

このため、収納対策に全庁的に取り組むため設置された『佐井村収納対策本部』で具体的な検討をするとともに、強化対策に努めるよう要望する。

また、公有財産の効率的運用や管理体制についても、万全を期すよう要望する。との、平成十六年度決算報告がありました。

平成十六年度佐井村一般会計
 歳入 二、六一五、三七九、六五七円
 歳出 二、五七八、三三九、二六四円

平成十六年度
 佐井村簡易水道事業特別会計
 歳入 一五六、三九三、五八八円
 歳出 一五六、三九三、五八八円

平成十六年度
 佐井村下水道事業特別会計
 歳入 四〇五、四三三、七二二円
 歳出 三九七、二三三、七二二円

平成十六年度
 佐井村国民健康保険事業特別会計
 歳入 三六六、三二一、七五九円
 歳出 三六〇、四四一、三七五円

平成十六年度
 佐井村老人保健特別会計
 歳入 三九三、五九七、八九三円
 歳出 三九三、五九七、八九三円

平成十六年度
 佐井村介護保険特別会計
 歳入 一七八、三一九、六〇九円
 歳出 一六八、〇八二、二二五円

カレント株式会社

業務報告書未提出

川畑委員

カレント(株)について、業務報告書が二年間提出されていない。

事務的ミス

産業建設課長
行政上の事務的ミスである。



建物の所有者は未だに不明確なまま・・・

村の指導は？

川畑委員

農林漁業振興事業資金の毎月の償還金が少額なため、元金の償還まで相当の年数がかかる。他の事業をやっていたら、毎月の償還額を多くするよう行政指導をすると説明を受けていたが、カレント(株)からその状況の説明を受けているか。また、村としてどのような指導をしているか。

今後、精査する

村長

土地の貸付は、工場用地を使用目的にしている。契約は平成十八年三月が期限であり、契約更新の時点で正常な賃貸契約を結ぶ。

ただし、建物の所有者が明確ではないので、それについても精査し、課税を含む

貸付金の早期返済を

川畑委員

会社には早めに正常な営業または事業をしていただき、貸付金を早く返済してもらいたい。

また、土地の契約更新に当たっては、使用目的に従って契約してほしい。

返済に向けて指導する

村長

カレント(株)の定款では色々な事業ができることになっていて、借入金を一日も早く返済できるように指導する。

また、土地の契約更新は、庁議で検討する。

めて契約に当たる。

村長車 30万円が2万円？



売却された村長車(同型車)

千葉委員

村長車を、当初三十万円で公売に出したが、二万円で販売したようである。内容を説明していただきたい。

公売には

希望者がなかった

総務課長

公売には希望者がなく、私どもが希望した値より下がるといふ状況から、日産サテオ(下北店)のアドバイスを受けながら売却した。

28万円の損失

竹内委員

広報に三十万円の公表価格が明示されているので、二万円で売却したとすれば、二十八万円損したことになるのではないか。

価格設定に問題があった

総務課長

価格設定についても問題があったようである。また、一年も経過している状況から、ご理解をいただきたい。

今後、財産処分については、慎重に対応していく。

村税不納欠損額増加

島野委員

不納欠損額が、村民税二十一万五千円。固定資産税七十九万九千円。国民健康保険税は、実に三百三十三万円である。どう対応するのか。

差押え等実施する

住民福祉課長

不納欠損処分等を出さないよう、徴収体制を整え、税務事務を進めている。

今後とも、差押え等をしながらか、納税を促進できるように滞納整理組合等を交えながら協議を進めていく。

保険証切替時

理解を求めよ

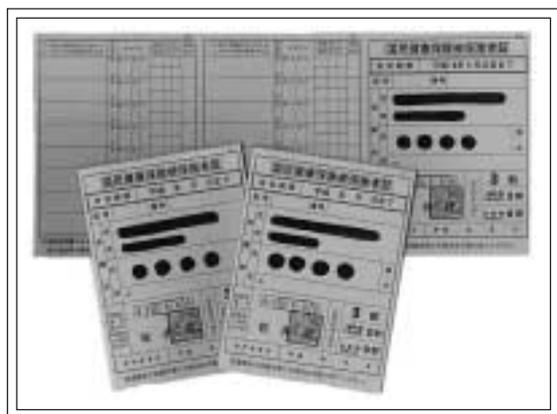
島野委員

特に国民健康保険税は、医療給付の受給のための目的税であり、また、今月は保険証の切替時期にあたる。この機会を利用して、国保税の目的を理解するよう指導をすべきと思うが。

重要性を周知する

村長

国民健康保険は、お互いが助け合う互助の精神である。国保税の重要性を理解していただくための施策を講じていく。



更新手続きはお済みですか？

収納対策本部の

内容を説明せよ

福田委員

税の収納体制として、佐井村収納対策本部会議を設置しているが、会議の内容を説明していただきたい。

各課長等で協議

村長

収入役が本部長であったが、欠員となったことから、助役が担当し、各課長等で協議している。

滞納者名簿の

照合等

住民福祉課長



住民福祉課国保税務係

会議の内容については、滞納者の名簿の照合、そして、収納見込みの状況等について協議をしている。

固定資産税

なぜ滞納？

福田委員

固定資産税の不納欠損処分について、資産がありながら滞納することはおかしい。

差押え物件

処分できず

村長

差押え物件が、競売に付して処分できれば良いができないのが実情である。

三上剛太郎の生家 管理体制を構築せよ

千葉委員

三上剛太郎の生家は、善意で寄付されたものである。寄付者に、未来永劫泥をかけるようなことのないよう、管理体制を構築すべきと思うが。

「ご厚意に応える

村長

厚意に応えるためにも、管理体制を確立する。



村に寄贈された三上剛太郎の生家

各学校に配置のパソコンで 子どもたちの技術向上を図れ

千葉委員

県の補助事業で、各学校にパソコンが導入されているが、保守点検が行われていないようである。つまり、全然使用されていない。

先生が一生懸命

指導している

生涯学習課長

各学校のパソコンは、主に、総合学習の中で使用されている。子どもたちはインターネットで情報を引き出している。

また、先生方も操作方法等については、一生懸命指導している。

操作技術の水準は
どの程度か？

千葉委員

ワード、エクセル、インターネットの技術については、どの程度の水準か。

把握していない

生涯学習課長

子どもたちの水準については把握していない。

大型クラゲ接近中 被害漁業者救済を

福田委員

大型クラゲが平成十五年度の十倍、おそらくは百倍近く発生するようである。

今後、被害が生じた場合、被害者に対し、平成十五年度同様の利子補給を考えているか。

利子補給を検討

村長

クラゲ、トドの被害と、漁師の皆さんに対し、気の毒に思っている。

被害が出るのは確実であるものと考えており、従来と同じく、利子補給は考えている。



クラゲの被害がなければ良いなあ

生活交通ユニバーサルサービス構築モデル事業

村内関係事業者の理解は得られたか

竹内委員

生活交通ユニバーサルサービス構築モデル事業として、福祉と介護輸送の対応として実施するに当たり、タクシー等の事業者の理解を得ているのか。

理解は得られている

村長

理解は得ているものと解している。

タクシー会社も

賛同しているか？

竹内委員

福浦、牛滝地域はタクシーの営業圏内であるが、それについても全て賛同を得ていると理解して良いのか。

協議会の

会員である

行財政改革室長

この事業を実施するに当たり、佐井村新交通システム協議会を設置している。



アルサスで行われた説明会の様子

積極的に推進せよ

千葉委員

私は、この件については、村民サイドから考えれば、非常に良い制度である

その会員の中には、下北交通(株)、(有)大間運輸等の事業者も入っている。公平、不公平が生じないよう進めていく。

と理解している。積極的に進めていただきたい。
PRに努める

村長

住民サービスを図るためにも、一層PRに努める。

生活交通ユニバーサルサービス構築モデル事業とは？

佐井村と青森県が行う『ボランティア輸送』の実証運行です。

交通が不便な地域に住んでいる方々の移動手段として、一定の条件を満たしたボランティア運転手が利用者の予約に応じて、自宅から目的地までの送迎を行うものです。

実証運行は平成十七年十一月一日から平成十八年二月二十八日まで行われます。登録した会員は、村内及びむつ市等の病院やスーパーまでの送迎が受けられます。また、自宅近くのバスの停留所まで利用することもできます。



協議会の会員である下北交通(株)、(有)大間運輸

海の森づくり事業

コンブの安定的な生産を



コンブで埋め尽くされる干場

島野委員

県が海の森づくり推進事業で、コンブ製品づくりを目的に、延べ縄方式で、本年十二月に、原田・本村・矢越・磯谷沖に各三ヶ統ずつ設置するようである。概要を説明していただきたい。

投石等を実施

産業建設課長

コンブの胞子の付いた投石と延べ縄方式で実施する。

村単独で実施の考えはないか？

島野委員

佐井地区を選定した背景として、佐井の沖合いが環境に適しているので選定したのもと思う。

コンブの安定的な生産を図るためにも、この事業がある程度生産に結びつくとしたら、村単独事業で実施する考えはないか。

水産振興基金活用を考える

村長

私もこの試験事業に期待している。電源開発株からの、水産振興基金の利息を運用して、漁民の皆さんにお手伝いをしたいと考えている。

冬期休業の公共施設

12ヶ月営業の考えを示せ

千葉委員

ケビンハウス、森林体験館の営業予算が八ヶ月になっているが、指定管理者の募集要項では十二ヶ月営業となっている。考え方を説明していただきたい。

事業者の

アイディアに期待

村長

冬期間の利用者が少ないためと、財政が厳しいことから、冬期間閉鎖も止むを得ない。来年四月一日から指定管理者に応募する企業は、それぞれのアイディアを出してほしいと考えている。

従業員への

対応は？

千葉委員

ケビンハウス、森林体験館は佐井定期観光(株)が八ヶ月分の管理委託を受けている。指定管理者制度の実施によって他者に委託になった場合、これまでの従業員はどうなるのか。

組織がきちんと

考えるべき

村長

組織の中で、きちんと考えるべきものと思っています。



利用者の少ないテニスコートの活用も
指定管理者のアイディア次第(フォレストパーク)

平成18年度指定管理者制度導入

公共施設の経費の節減を



観光客にでにぎわうスーパーニアハウス

対応しない

総務課長

新たなイベントが生じた場合に要する費用は、村では対応しない。

アルサス内のテナントは？

竹内議員

アルサスに入っているテナント

ナントについて、今後は管理を受けた業者に権限を与えるのか。

指定管理者による

総務課長

今後は指定管理者とテナントの協議の中で結論を出すべきものと考えている。

指定業者の
企画次第

川畑議員

この指定管理者制度は、これまでの運営方法を民間に移して、経費の節減を図るものであると理解している。アルサス、森林体験館、ケビンハウスを委託して、どの程度の節減になるのか。

総務課長

指定された業者の企画次第で、相当な利益を生むものと考えられる。

イベント費用の

助成はするのか

竹内議員

途中で新たなイベントを企画した場合、それに係わる費用は村で検討し、追加するのか。



アルサス2階の飲食店

佐井村教育委員会員に 内藤司氏を任命

平成十七年十月二十七日付けで佐井村教育委員会委員長内藤司氏の任期が満了するため、引き続き同人を佐井村教育委員会委員に任命しました。



お詫びと訂正

平成十七年八月十五日発行のさい議会だより第百三十号、十二ページの人権擁護委員佐々木寛昭氏の任期満了日は平成十七年九月三十日の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



竹内典和議員

中小企業振興事業で 景気対策を

理由は何か？

利用状況は、本年七月現在で、簡易小口資金が一件一千万円である。

村長

7月現在 1件

竹内議員
佐井村中小企業振興事業として、県信用保証協会へ事業資金の特別保証（裏付保証）資金として、毎年一千万円を貸し付け、各金融機関を窓口にして、小口資金近代化資金として融資しているが、その利用状況等を分析、検証しているか。



アルサス周辺の商店街

竹内議員
この融資制度は、村の景気対策として創った施策であるが、その効果は出ていない。意味のない制度になっている。

経営の苦しい商工業者

効果が出ていない

竹内委員
利用者が少ない理由は何なのか。
景気の先行きが不透明なため

村長

景気の先行きが不透明なため

対策講じている

村長
は、融資を受けたくても断られ、厳しい経営が強いられている。もう少し業者の身になって、実のある制度として、企業の経営対策をしてほしい。

審査ハードルを下げるべき

竹内議員
一番の問題は、金融機関



資金貸付の窓口となる佐井村商工会

利率を検討

村長
利率の問題を含め、金融機関並みに取次店とも話し合いの場を持つが、この制度は商工会が窓口であるので、商工会にも同様の対応をする。

特別養護老人ホーム 進捗状況と今後の計画を示せ



千葉悦治議員

千葉議員

電源三法交付金で特別養護老人ホームを建設する計画であったが、民間企業の参入により、現在、同企業によるグループホームが建設されている。

特別養護老人ホームとグループホームは、両施設が一体運営にならなくては経営が成り立たないことを、村当局は十分理解していないが、同企業からの特別養護老人ホームの建設の企画書が提出されても、動きが見えないと聞いている。



建設中のグループホーム『さい荘』

平成19年度を
検討中

村長

県高齢福祉保険課との事務レベルでの協議の中で、平成十八年度重点地区として、下北地区が指定されている。平成二十一年度に計画している当村の計画は、青森県介護保険第四期計画の中で対応になることから、当村の指定は不透明であると説明を受けた。

このようなことから、計画書を見直し、平成十九年度において、厚生労働省の補助事業で整備可能かどうか事業者と協議をしており、事業者から平成十九年度に整備を進めたいとの返事があれば、県に対して、当村への認可に向けて要望していく。

学校統廃合の 対応について



みんなでなかよく『実験』準備中
(佐井小学校交流学習)

千葉議員
村内小中学校の平成十八年四月の統合に向けて、住民の理解および児童の慣れの指導対策はどのようになっているのか。

交流学習を計画

教育長

統廃合することについては、地域住民の理解は得られたと判断している。

新学校で不安なく過ごせる対応が必要なことから、交流学習を計画している。また、少年自然の家を活用して、連合の宿泊研修等を実施している。



今年度、村内から8名が入学した大間高校



音楽も自己PRの手段

新しい高校入試制度 合格率100%目指せ

千葉議員

高校受験一〇〇%合格を
目指し、今年から導入され
る前期・後期入試の対策、対
応についてどのように考え
ているか。

根本的には
変わらない

教育長

県立高校の選抜制度に変
更があっても、根本的な姿
勢は変わらない。

各学校では、それぞれ創
意工夫を凝らして、一生懸
命取り組んでいる。

入試制度は
変わっている

千葉議員

根本的なものは変わって
いないと言いが、入試制度
は変わったのである。

大間高校では、前期は五
教科の学力検査と面接で八
十人、後期は面接、口頭試

問、小論文、自己PRで二十
人が合格となる。今までの
方法と変わったのだ。

本人の頑張りに期待

教育長

学校自体でも指導はして
いる。いずれにしても、本人
の頑張り次第で、合格でき
るものと思っている。

無医村対策 医師の養成は？



ただいま英語の勉強中！（佐井中学校交流学习）

千葉議員

当村が無医村になる可能
性をふまえ、当村教育の頂
点の機関として、何か対策
を考えているか。

奨学資金で支援

教育長

現在、奨学資金貸与制度
の中で、医学を志す者に奨
学金を貸与して就学の機会
を支援している。奨学金の
貸与に当たっては、当村に
医師として勤務することを
義務付けていないが、医師
確保対策として、当村の医

師として勤務すること、さ
らにそれ相当の勤務をすれ
ば、奨学金返還金の一部を
免除するなどの附帯条件を
設ければ、医師確保につな
がるものと考えているが、
財政事情等も考慮して検討
する。

アスベスト（石綿） 施設調査の結果について



川畑勲夫議員

川畑議員

アスベストが原因と言われる中皮腫がんの発生が大々的に報道されている。当村でも、役場をはじめとする公共施設、特に中学校に使用されている可能性があると思われるが、その実態を調査したのか。

問題は
ない

村長

村内の公共施設を調査した結果、各学校はじめ公共施設は非飛散性であり、問題ないという結論を得ている。



心配された体育館にも問題はなかった
(佐井小学校学習発表会)

菌床しいたけ栽培

周年生産体制確立

行政も協力を

川畑議員

地場産業の振興を目指して、平成十一年にしいたけ菌床栽培事業を実施し、現在四名で、佐井村森友会生産組合を組織し、生産に励んでいる。

当初は冬菌を対象にした栽培形態であったが、現在は周年生産といわれる形態に移行している。しかし実際はその体制は確立できていないようである。夏場の高温で発生率が悪く、生産率が低下している。

その対策として、冷水クーラーの整備や地下水の利用等があるようだ。周年生産体制を確立するため、行政の役割が大きいものと考えている。

冷水クーラー

試験的に実施

村長

ハウス内の温度管理ができず、計画したような出荷



おいしいシイタケが育っています

量に至っていないことは承知している。生産性を向上させるため、夏場の生産の安定に取り組むことが重要であり、生産者の方々の創意工夫等、やる気が大前提である。

冷水クーラーの整備については、財政的なものがあるため、生産者と検討し、来年度一部でも試験的に実施する考えである。

冷水クーラーは必要

川畑議員

菌床ブロックを水に浸けて発生を促すというやり方を行っているが、水道水であれば二十度以上に上昇することもある。本来は十四度から十六度が適温である。そのためにも、冷水クーラーが必要になる。

地下水の利用も検討

村長

地下水を利用する場合、夏は涼しく、冬は温かいという利便性を含め、生産者の方々と話す機会を設ける。

追跡質問

農作物の被害拡大 独自予算でサル対策を

竹内議員

サル対策について、真つ当な対策が示されていない状況である。農作物の被害だけでなく、人的労力や精神的な面からも、日増しに住民の苦情が大きくなっている。

村独自の予算で対策を講ずる考えはないか。

村長

追い上げを行っている

村単独の対策としては、サルを追い上げる人を雇用し、担当職員と一緒に努力している。

サルの生息は変化している

竹内議員

サルの調査が始まってから大分経っている。頭数も増え、状況も変化していると思われる。五年、十年後の生息の範囲、あるいは被害の拡大範囲をどのように予測しているか。

サル対策協議会を検討している

村長

今後の数の予測については、増えるものと考えている。この点については、大間町、風間浦村、佐井村の共通の問題であることから、今後はサル対策についての協議会を立ち上げたいと考えている。

生息範囲はほぼ全域

産業建設課長

サルの頭数は、現況では、下北全体で二十九群、一千六百頭になっている。そのうち、佐井村に生息するのは九群、約四百頭から四百五十頭と推定している。生息の拡大範囲は、ほぼ全域に亘っているものと考えている。



木の上から様子を伺うサル

追跡質問

大規模増養殖場活用計画示せ

千葉議員

大規模増養殖場の活用で、ナマコ、アサリの養殖等について、県および漁業協同組合と協議はしたのか。

ナマコを放流

産業建設課長

漁業協同組合長の考えとしては、ナマコを放流することである。

漁協と行政が連携すべき

千葉議員

養殖や栽培による確実な収入源を確保するために、積極的に漁業協同組合と行政が連携すべきである。

漁協の漁師への指導による

村長

行政が主体を持つものではなく、漁業協同組合がやる意欲を持ちながら、漁師の皆さんにもやる意欲を指導すべきと考える。



大規模増養殖場（糠森地区）

追跡質問

大間原子力発電所 工事による地元振興を

千葉議員

大間原発本工事着工による地域振興対策として、工事従事者の地元消費について、地元購入ができていないときは、ある種の罰則を科すなどの対応をするため、大間原発三ヶ町村協議会内に『地域振興監視委員会』を設置する考えはないか。

設置の必要はない

村長

電源開発(株)とは長年の信頼関係がある。そのような委員会の設置については、必要ないものと考えている。

地域振興をどう考える？

千葉議員

大間原発工事の建設にあたって、地元業者が、三次下請け、四次下請けがほとんどで、収益も乏しくなるようである。地域振興をどのように考えているか。

地元を優先してもらいたい

村長

大間原発工事については、三ヶ町村が公平な立場で地元を優先してもらいたいと考えている。

工事関係者の住所移転は？

千葉議員

工事の着工に伴い、建設関係の方々が当村に二百人ほど来るといわれている。その方々について、住民票を当村に移していただき、税金を徴収する考えはないか。

考えはある

村長

作業員宿舍の建設用地的要請も現在はないが、今後を見通して、その対応は持っている。

『ほくと』新造船に期待

高速船『ほくと』に係る行政視察…議員 田中正行

平成十七年七月十九日、
村長はじめ全議員共々、青
森市の下北汽船(株)新代表取
締役濱崎正明氏を表敬訪
問。村民生活と直結する離
島航路『ほくと』の運行存
続について内容を十分把握
するとともに、青森、脇野
沢、佐井航路(離島航路)の
高速船による運行存続につ
いて」の要望書を、村長並

びに議長の連名により、下
北汽船(株)に提出した。
その後、濱崎社長から、今
後の『ほくと』の運行存続に
ついての説明がされ、数名
の代表者からの質問に対し
て、次のような回答があっ
た。

当初から離島航路は残さ
なければと思ひ、取り組ん

できた。県では廃止したい
方針だが、国としては存続
しても良いということであ
る。『ほくと』の老朽化につ
いても、平成十九年度予算
で新造船建造の話までいた
だいている。離島航路は会
社の経営として十分成り立
つが、フェリー『かもしか』
(脇野沢、蟹田)については、
大変厳しいと思う。

善し悪しに関わらず、将
来下北半島は『原子力半島』
になっていく地域と思われ、
国道二七九号の道路一本で
下北半島を支えていくのは、
あまりにも無茶な話である。
少なくとも、県庁所在地で
ある青森市へストレートに
結ぶこの海路は、防災上か
ら必要不可欠である。

十月一日にはフェリーと
離島航路を分離する。離島
航路は、国と下北半島の市
町村と青森市とで支えるこ
とになる。基本的には、船舶
にかかる費用(船員の給料、

油代等)は国の補助である
が、必要なのは丘の事務経
費と事務職員の給料。それ
も売上げ(旅客運賃収益)の
二十三日は国が補助してく
れる。したがって、利用者が
多いと持ち出しもなく、国
の補助だけで済んでしまつ
つ。

このため、新造船が就航
した段階で単年度の赤字が
発生したとしても、微々た
るものであり、今までいた
だいている各市町村からの
補助金も不要となる。

離島航路は、半分は生活
航路であり、半分は観光航
路である。これからは離島
航路を認知していただき、
県内の方々にも多く利用し
ていただくために、荒天時
の脇野沢や佐井に着いた後
の交通アクセスについても
考えている。また、県庁や青
森県立中央病院への無料送
迎が可能かどうか、金融機
関等と近々勉強会を開く予
定である。

運賃についても、多くの
方々に乗船していただくた
め、合理的で納得のいく運
賃にしたい。

新造船の建造にあたって
は、コンピューター制御で
横揺れと欠航率をカバリー
できるものにした。また、座
席についても、できれば、
ゆっくりくつろげるサロン
風にした。と考えている。

不安を与えてきた県職員の
言動は、一体何だったのか。
近い将来、新造船が就航
し、新幹線が青森まで着い
たなら、この離島航路も利
用客で一段とにぎわうであ
らう。久々に良い方と違い、
良いお話を聞き、未だかつ
てない有意義な懇談会であ
った。

さすが大阪出身。社長の
物の見方、考え方は我が県
人とは比べることはできな
い。離島航路『ほくと』廃
止は何度もテレビや新聞等
で報道された。地域住民に



下北汽船(株)との懇談



新造が待たれる『ほくと』